

第 20 回北東アジア港湾局長会議

(11月7日(木) 9:00-17:00 韓国・昌原市、Grand Mercure Ambassador Changwon)

出席者

- 日本（国土交通省大臣官房技術参事官 堀田 治をはじめ12名）
- 中国（交通運輸部安全総監兼水運局長 李 天碧をはじめ6名）
- 韓国（海洋水産部港湾局長 金 晟範をはじめ12名）

主要議事

- (ア) 「環境にやさしい港湾 (Green Port)」をテーマとした情報交換
発表者：中国) 交通運輸部安全総監兼水運局長 李 天碧 (Li, Tianbi)
「China's Green Port Policies」
日本) 国土交通省大臣官房技術参事官 堀田 治
「Green Port Policies in Japan」
韓国) 海洋水産部港湾局長 金 晟範 (Kim, Sungbum)
「Strategy of Particulate Matter (PM) Reduction in Korean Ports」
- (イ) 共同研究の報告
作業部会で取り組んでいる以下の3つのテーマについて、作業部会を代表して、韓国海洋水産部港湾局港湾政策課 金明珍 (Kim, Myungjin) 課長が進捗状況や今後の取り組みについて報告を行いました。
・港湾の高度化と統合的発展 (中国提案)
・航路・泊地の維持管理 (日本提案)
・北東アジアにおけるスマートポートの実現戦略 (韓国提案)
また、三か国の研究所が共同で行っている以下の研究について進捗報告がなされました。
・環境に配慮した港湾運営のためのガイドライン (中国・韓国・日本合同)
- (ウ) 第 21 回北東アジア港湾局長会議
次回開催国である中国より、開催時期、開催場所などについて提案があり、意見交換を行いました。

議事録署名

上記内容について三国間で署名しました。

今後の予定

来年、第 21 回北東アジア港湾局長会議を中国大連市で開催する予定です。

(参考) 北東アジア港湾協会会長会議

北東アジア地域港湾の持続的な開発と繁栄に向けて、三国の港湾協会が緊密な協力関係を構築し、専門的な研究や討議、情報交換を目的として、北東アジア港湾局長会議と時期、場所をあわせて開催。日本側代表は、日本港湾協会副会長 須野原豊氏。